

大量の光メディアを全自動で楽々マイグレーション

光メディア自動マイグレーションシステム

ODLM900/800/700

大切な過去資産である光メディア(CD/DVD/Blu-ray)を手間なく全自動で LTOテープへの集約やクラウドへのアップロード
レーベルスキャナや AI による検索メタデータ自動生成



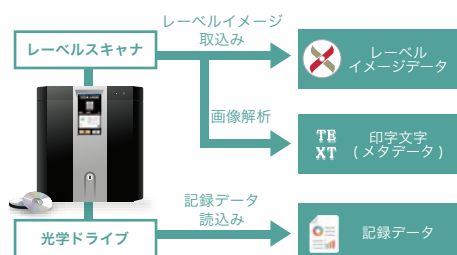
特長

大量の光メディアを全自動で楽々マイグレーション

ODLM は、光メディア搬送用のロボットアーム、入出力用の光学ドライブ、レーベルスキャナを搭載しています。そのため、ユーザーは光メディアをセットし（最大200枚）前面のタッチパネルでジョブを実行するだけで、自動的に光メディアが搬送され、光学ドライブによるデータ記録面の読み取り、レーベルスキャナによるレーベル面の読み取りが行われます。読み取りが完了するとアーカイブシステムと連動し、指定されたアーカイブ先に自動でアーカイブされていきます。

レーベルイメージの保存と印字情報をメタデータ化

読込んだレーベルイメージは、データ記録面のデータとセットでアーカイブされます。また、レーベルイメージは画像解析機能により、文字として認識可能な部分をメタデータ化します。メタデータ化することで、アーカイブデータの検索時にフリーワード入力でヒットさせることが可能です。また、メタデータは後からでも編集可能なため、既存のメタデータ情報の修正に加え、新たに追加することも可能です。これらの機能により、検索の容易性が非常に高くなっています。



AI によるフォルダ自動振り分けオプション

ODLM は、AI によるフォルダ自動振り分け機能に対応しています。事前に教師データと学習データをご提供いただくことで、フォルダ自動振り分け AI モデルを作成し組み込みます。例えば、スポーツ選手の写真を人手で振り分ける作業など、画像を人が判断し振り分ける処理を AI が自動で実施します。複数の選手が写っている画像の場合には、複数のフォルダにそれぞれコピーし振り分けれます。



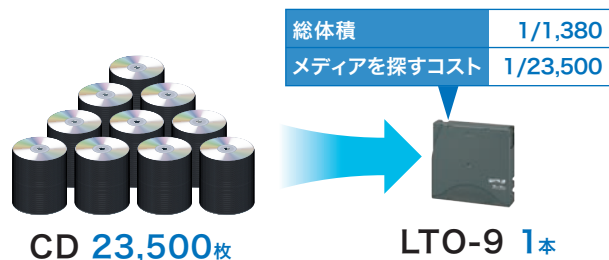
マイグレーション先は HDD や LTO テープ、クラウドなどから複数選択可能

ODLM では、マイグレーションしたデータのアーカイブ先が指定可能です。例えば、編集データは HDD、利用頻度が高いデータはクラウド、大容量長期保存データは LTO など、使用用途に合わせた指定が可能です。また、同時に複数のアーカイブ先へ出力することも可能なため、HDD と LTO テープ、LTO テープとクラウド、LTO テープと LTO テープといった指定も可能です。複数のアーカイブ先を用意しておくことで、万が一アーカイブ先の1つが出力不可となった場合にも、業務継続が可能となり BCP 対策にもなります。

導入のメリット

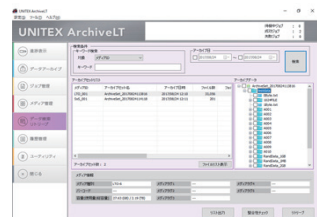
マイグレーションは保管スペースの削減と利活用への第一歩

マイグレーションは、ただ古いメディアから新しいメディアへの移行と捉えられがちです。しかし、マイグレーションすることで現在の運用に即したメディアにする、新しいメディアになることで入出力速度が上がる、といった過去のデータをより利活用しやすいものへと変えていくことも含まれます。また、古いメディアを集約することで、保管スペースや媒体の検索コストも軽減され、コスト面でのメリットにもつながります。



マイグレーションしたデータは、アーカイブソフトウェアで一元管理

マイグレーションしたデータは、アーカイブソフトウェアによってアーカイブ先メディアへ書き込みおよび比較が行われます。アーカイブソフトウェアは、どのファイルをどのメディアに書込んだかを内部のデータベースにて管理しています。ソフトウェアの検索画面からは、それらの一覧や検索条件に一致する一覧などさまざまな角度からのデータ検索が可能です。また、実際にメディアからデータを読み込まない検索などの処理は、データベース上の情報から処理可能であるため、アーカイブ先メディアがなくても実施可能です。検索結果には、マイグレーション元メディアのレーベルイメージも表示されるため、検索結果が正しいかの判断材料となります。



- アーカイブソフトウェアの検索画面では、ファイル名やフォルダ名だけでなく、レーベル面の印字文字での検索も可能
- サムネイルタブでは、検索結果の該当データが記録されていたメディアのレーベルイメージが確認可能

サブスクリプション対応製品

ODLMはサブスクリプションの対象製品となっています。マイグレーションなど一過性の作業は、作業が終わるとシステムが不要となるため、サブスクリプションといった期間での貸出しが可能となっています。また、アーカイブシステムの管理データはエクスポートおよびインポート可能であるため、新規にアーカイブシステムだけ購入すれば、これまでのアーカイブ情報は引き継いだまま、新たなアーカイブも実施可能です。また、同様に繁忙期だけシステムを拡張し処理可能量を上げてほしいといったニーズにもお答えいたしますので、是非ご用命ください。

ハードウェア緒元

■マルチ光ディスクシステム

型名	ODA1400SC
ドライブ種類	CD/DVDドライブ ※Blu-rayドライブオプションあり
ドライブ数	2台
ディスク枚数	100枚(標準) / 200枚(オプション)
ラベル印刷方式	インクジェット方式(カラー・モノクロ)
レーベル面撮影方式	コンタクトイメージセンサ(600dpi, RGBカラー)
有効読み取り幅	165mm
対応ディスク ※データディスクのみ対応	CD-ROM, CD-R, DVD-ROM, DVD-ROM DL, DVD-R, DVD-R DL (DVD+R, DVD+R DL, DVD±RW, DVD-RAM, CD-RW) ※()内は読み込みのみ対応
対応フォーマット	ISO9660/ISO9660拡張(joliet/RockRidge/文字種拡張) UDF1.02, UDF1.50, UDF2.50, UDF Bridge, VIDEO (DVD-Video) (UDF 2.00, UDF 2.01, UDF2.60) ※()内は読み込みのみ対応
電源	AC100V / 50/60Hz
動作温度	温度: 15°C~35°C 湿度: 20~80%(結露なきこと)
保存環境	温度: -10 ~ 50°C 湿度: 90%以下(結露なきこと)
外形寸法(mm)	423(W) x 647(D) x 471(H)
質量	38kg未満

■LTOアーカイブシステム システム制御装置

型名	LTAS システム制御装置
オペレーティングシステム	Windows 10 Enterprise LTSC 2019 / Windows Server への変更可能
CPU	Intel Xeon シリーズ / Intel Core シリーズ
メモリ	8GB~ ※オプションにより構成変更可能
ハードディスク	HDD 1TB~ ※オプションにより構成変更可能
モデル	ノート型 ※タワー型 / ラック型への変更可能
電源	AC100V / 50/60Hz
動作温度	温度: 15°C~35°C 湿度: 20~80%(結露なきこと)
ソフトウェア	UNITEX LTFS3000 ソフトウェア UNITEX ArchiveLT ソフトウェア

対応デバイス一覧

下記の対応ドライブ一覧よりコピー先ドライブを選択してください。

シングルドライブ	LT90H USB / LT80H2 USB / LT70H2 USB LT90H USB/SAS / LT80H2 USB/SAS / LT70H2 USB/SAS
ラックマウント	LT90H USB-RM / LT80H2 USB-RM / LT70H2 USB-RM LT90 SAS-RM / LT80 SAS-RM / LT70 SAS-RM ※ドライブ最大 2 台まで構成可能
デュアルドライブ	DualLT9090 / DualLT9080 / DualLT9070 / DualLT8080 / DualLT8070 / DualLT7070
防塵・静電	LT90EX USB / LT80EX2 USB / LT70EX2 USB LT90EX USB/SAS / LT80EX2 USB/SAS / LT70EX2 USB/SAS

構成例

型名	構成品
ODLM900-USB-WS	基本構成(ODA1400SC x 1台、LTAS システム制御装置 x 1台)、 LT90H USB x 1台、液晶モニター、キーボード、マウス
ODLM800-USB-WS	基本構成(ODA1400SC x 1台、LTAS システム制御装置 x 1台)、 LT80H USB x 1台、液晶モニター、キーボード、マウス
ODLM800RM1-USB-WS	基本構成(ODA1400SC x 1台、LTAS システム制御装置 x 1台)、 LT80H USB-RM1 x 1台、液晶モニター、キーボード、マウス
ODLM700RM2-USB-WS	基本構成(ODA1400SC x 1台、LTAS システム制御装置 x 1台)、 LT70H USB-RM2 x 1台、液晶モニター、キーボード、マウス

オプション製品

- クラウド連携機能追加オプション
 - クラウドストレージへのアーカイブが可能なオプション
- ディスクストレージ連携機能追加オプション
 - ディスクストレージへのアーカイブが可能なオプション